

目次・天気予報はどのようにつくられるのか

はじめに 3

〔第1章〕

大気と海洋の姿を知る

15

1

天気予報の舞台である大気を眺める 16

大気中の諸現象 16

地球の大気 24

大気の区分 29

偏西風と偏東風 32

2

波が立ち、ときには津波も起きる海洋を知る 39

海洋と大気の相互作用 61

波浪、高潮、潮汐 42

〔第2章〕

大気と海洋の今を知る

51

1 どうして観測が必要なのか 52

2 気象観測の体系 55

気象観測の種類 57

気象観測の技術基準 61

気象観測データの通報 63

国内・国際気象観測通信網 66

3 地上気象観測 68

気象官署での観測 70

特別地域気象観測所 74

アメダス 75

4 高層気象観測 80

5 気象レーダー 88

[第7章]		[第8章]				
1	地球温暖化問題への世界的取り組み	210	1	波浪予報の特徴	216	
2	温暖化モデルと気象予測モデルとの相違	211	2	波浪予報モデルと情報	217	
3	温暖化予測モデルの結果	213	3	津波予測の原理、気象予測との違い	218	
			4	気象予測と津波予測の計算の相違	220	
			5	津波のシミュレーション	223	

					6
					津波情報、注意報、警報 224
				〔第9章〕	
				天気予報の法制度	225
			1	気象庁の概史	226
			2	気象庁の組織（国家行政組織法、国土交通省設置法など）	230
			3	気象庁のサービス（気象業務法など）	233
			4	予報の現業体制	240
	おわりに				244